

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38306
事業名	さっぽろアスリートサポート事業助成費					
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 企画事業課				
	課長名	深井 貴広	担当者名	宮本 亮	電話番号	011-211-3044
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	・若手アスリートやその保護者の経済的な負担を軽減し、全国大会や合宿に参加しやすい環境を創出する。 ・スポーツ実施率の向上を図る。			
		長期	トップアスリート輩出の側面支援やスポーツ振興を図る。			
	取組内容	・次世代のトップアスリートを育成するため、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に係る自己負担分を補助し、札幌から世界に羽ばたく選手の育成を図る。 ・本市のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人のスポーツ活動の充実と発展を促進し、もって本市のスポーツ振興に資する活動を適正に実施する。				
	実施結果	次世代のトップアスリートを育成するため、全国大会出場や強化合宿参加など257件に対し自己負担分の一部を助成した。				
事業実施における工夫点	札幌市において広く競技力向上に努める札幌市スポーツ協会に対する事業補助として実施した。					
対象者	トップアスリートを目指す若手アスリート等	開始	平成28年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	スポーツ基本法、札幌市補助金等の事務取扱に関する規定等					
他都市の状況						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	8,404	15,000	10,977	15,000	
うち特定財源	8,404	15,000	10,977	15,000	
人工	0.2	0.2	0.1	0.1	
人件費	1,440	1,440	720	720	
計(事業費+人件費)	9,844	16,440	11,697	15,720	
事業費の内訳	令和3年度決算	さっぽろアスリートサポート事業助成 10,977千円			
	令和4年度予算	さっぽろアスリートサポート事業助成 15,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	補助件数			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
		118	520	257	550	
活動指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響で国際大会等が軒並み中止となったことから令和2年度の申請件数は118件と低調であったが、令和3年度は状況が少しずつ改善されたこともあり257件へと増加した。本事業は、アスリートの経済的負担の軽減に繋がり、競技力の向上に寄与していると考えられる。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	アスリートサポート事業助成に関して、令和元年度より新型コロナウイルス感染症の影響を受け、助成件数、助成額とも縮小しているが、それ以前は平均500件前後の助成を行っており、事業規模自体は妥当と判断する。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	市内53の競技団体を総括する札幌市スポーツ協会が競技力向上に努めており、本事業の窓口に対応しいと判断する。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和2年度より助成額、申請手続き等の見直しを行い、対象者にとって利用しやすいよう改善されており、アスリートの大会、合宿参加等の負担軽減へと繋がっている。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映					
今後の改善点	対象人数の上限の緩和を行うことで、アスリートの経済的負担の軽減などの改善に繋がると考えられる。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	将来のトップアスリートが競技力向上に取り組む上での費用負担の軽減に資する事業であり、助成額、申請手続き等の見直しにより、アスリートの負担の軽減に繋がっている。前年度より助成件数も増加しており、事業効果が出ていると考えられる。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 アスリートの経済的負担を軽減できるよう、より効果的な運営方法の検討を行うことで事業効果を高めることができると考える。				
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 より効果的な運営方法を検討しつつ、現在の予算規模は維持していく。			見直し効果額	0